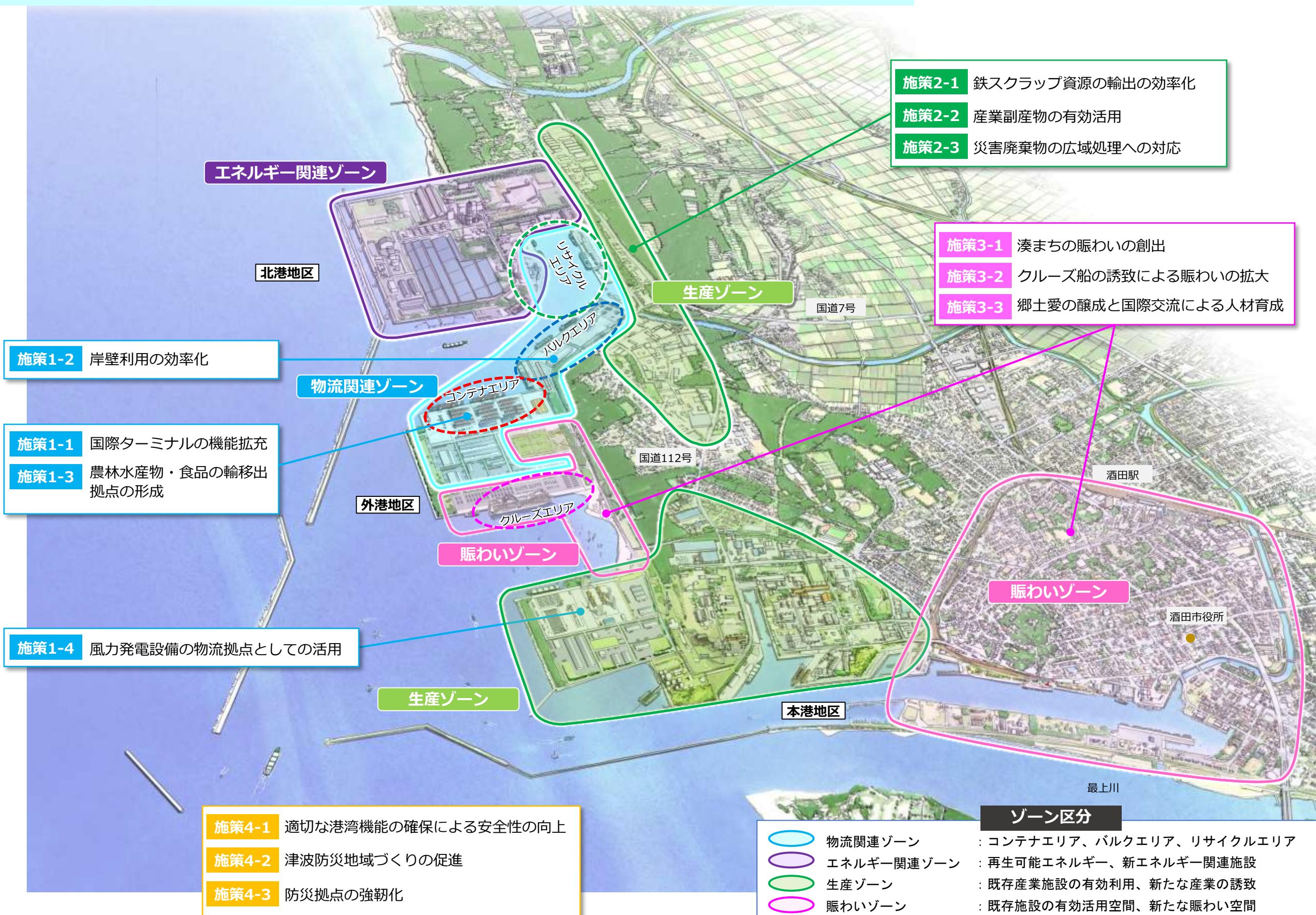


第3章 中長期的な空間利用のゾーニング

第2章で整理した各施策に基づき、中長期的な酒田港の土地利用の姿をゾーニングとして整理しました。



施策1-2 岸壁利用の効率化

施策1-1 国際ターミナルの機能拡充
施策1-3 農林水産物・食品の輸移出拠点の形成

施策1-4 風力発電設備の物流拠点としての活用

施策4-1 適切な港湾機能の確保による安全性の向上
施策4-2 津波防災地域づくりの促進
施策4-3 防災拠点の強靱化

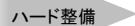
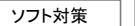
施策2-1 鉄スクラップ資源の輸出の効率化
施策2-2 産業副産物の有効活用
施策2-3 災害廃棄物の広域処理への対応

施策3-1 湊まちの賑わいの創出
施策3-2 クルーズ船の誘致による賑わいの拡大
施策3-3 郷土愛の醸成と国際交流による人材育成

ゾーン区分	
	物流関連ゾーン : コンテナエリア、バルクエリア、リサイクルエリア
	エネルギー関連ゾーン : 再生可能エネルギー、新エネルギー関連施設
	生産ゾーン : 既存産業施設の有効利用、新たな産業の誘致
	賑わいゾーン : 既存施設の有効活用空間、新たな賑わい空間

【資料】 施策の展開イメージ

目指すべき方向性	施策	短期(～10年)	中期(～20年)	長期(～30年)
1. 新規貨物の創出と港湾機能の強化	1-1 国際ターミナルの機能拡充	港湾利用による輸送促進(ポートセールス)、新規航路の誘致、物流関連機能の誘致等		
		貨物量の動向把握、必要な施設の検討	ターミナル関連用地造成、施設の設計、整備	
	1-2 岸壁利用の効率化	ふ頭の利用調整、見直し		
		新規岸壁の検討、設計、整備		
1-3 農林水産物・食品の輸移出拠点の形成	港湾利用による輸送促進(ポートセールス)、海外への県産品のセールス(訪日クルーズ旅客をターゲット等)、中国向け精米工場の指定促進、フェリー・RORO船の誘致、トライアル輸送等			
	貨物量・需要の把握	農水産品の輸移出に必要な施設(設備)の検討、設計、整備		
	フェリー・RORO船の岸壁の検討	岸壁の設計、整備		
1-4 風力発電設備の物流基地として活用	風力発電設備のメンテナンス等の需要に応じた既存施設活用の検討、設計、整備			
	物流基地等の検討	ふ頭用地、岸壁、航路泊地の設計、整備		
2. リサイクルの高度化	2-1 鉄スクラップ資源の輸出の効率化	リサイクルポート間及びリサイクルポート推進協議会等と連携した輸送システムの構築		
			必要に応じた施設の検討、設計、整備	
	2-2 産業副産物の有効活用	環境保全活動、再資源化への取組みの促進		
2-3 災害廃棄物の広域処理への対応	災害廃棄物受入れの検討、民間企業等による受入態勢の構築			
3. 交流機能の強化	3-1 湊まちの賑わいの創出	湊まちの賑わい創出(観光資源や海洋資源の活用、小型クルーズ船・遊覧船・海洋レジャー・イベント列車の誘致等)		
			クルーズ拠点の検討、用地造成・航路泊地・施設の設計、整備	
	3-2 クルーズ船の誘致による賑わいの拡大	県内観光地と連携したクルーズ船の誘致		
3-3 郷土愛の醸成と国際交流による人材育成	港やイベント等の活用による人材育成			
4. 安全・安心の向上	4-1 適切な港湾機能の確保による安全性の向上	港湾施設の適切な維持管理(点検・補修等)		
		第二北防波堤の配置見直し検討、設計・防波堤の整備(改良を含む)		
	4-2 津波防災地域づくりの促進	警戒避難体制の整備促進		
4-3 防災拠点の強靱化	港湾BCPの強化(災害時の緊急物資輸送拠点、近隣港湾のバックアップ)			
		耐震強化岸壁の検討、設計、整備		

凡例：  ハード整備  ソフト対策